

**2018年度 日本文化人類学会  
第5回理事会 議事録**

日時：2018年12月15日（土）14：00～17：30

会場：首都大学東京秋葉原サテライト C会議室

<出席者>清水展、赤堀雅幸、綾部真雄、石田慎一郎、伊藤泰信、風間計博、亀井伸孝、川田牧人、  
木村周平、栗田博之、佐々木重洋、高倉浩樹、棚橋訓、速水洋子、松村圭一郎、箭内匡  
<委任状提出者>飯田卓、石井美保、窪田幸子、曾我亨、中谷文美、森田敦郎、森山工  
<監事出席者>鈴木正崇

**〔承認事項〕**

1. 2018年度第4回理事会 議事録（案）を承認。
2. 新入会員（20名）につき、総務会で入会を承認したことを報告し、事後承認。

**〔報告事項〕**

1. 会長報告
  - ・引き続き法人化に伴う移行作業を進めていることを報告の上、各理事に協力を依頼。
  - ・法人化に伴う三田の事務局室の再契約に関わる神奈川大学との交渉について進捗状況を報告。
  - ・ブラジル国立博物館で起きた火災へのお見舞いを学会HPへ掲載したことを報告
  - ・第45回澁澤賞贈呈式へ出席したことを報告。
  - ・本学会よりサポートレターを送付した東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、京都大学東南アジア地域研究研究所の国際共同利用・共同研究拠点の採択状況について報告。
2. 庶務理事報告
  - ・学会費未納4年目の会員への対応について、会費納入ないし正式な退会手続きのいずれかの手続きをとらない場合には退会処理を行うことを報告。これに向けて、12月中にメールで会費納入依頼及び退会意思の確認を行うこととした。
  - ・過去の学会誌掲載論文について転載許可願いが2件あり、いずれも学会の基準に照らし転載を可としたことを報告。
  - ・日本オリエント学会より第5回三笠宮オリエント学術賞の推薦依頼が届き、総務会で検討の上、本賞が「自薦または他薦」による推薦を受け付けていることから、学会による推薦（他薦）候補者の募集（12月20日締切）及び自薦による応募の案内をJASCA-INFOにて配信したことを報告。
  - ・第14回日本文化人類学会賞授賞候補者についての投票が評議員によって行われ、手続きに基づき開票、評議員会への結果報告及び選考委員会への候補者推薦を行ったことを報告。
3. 会計理事報告
  - ・法人化に伴う銀行口座の移行について報告。
  - ・WCAAから2018年度会費の請求があり送金したこと、今回よりIUAES年会費と統合されたため金額に変更があったが、両費目を合算するとほぼ予算通りの支出であったことを報告。
  - ・第1回植松基金管理委員会を開催し名称や事業について検討を行ったことを報告。理事会での意

見交換の内容を含め、委員会で引き続き検討を進めることを確認。

#### 4. 総務理事報告

- ・来年度本学会が開催担当となっている人類学関連学会協議会（CARA）合同シンポジウムについて進捗状況を報告。
- ・今年度の学会公開シンポジウムの日程・内容に変更が生じたため、理事会でメール審議（10/11配信、10/18承認）を行ったことを報告。
- ・浜田明範会員を実施責任者とする2019年度学会公開シンポジウムについて、澁澤民族学振興基金の助成が内定したこと、平成31年度研究成果公開促進費（研究成果公开发表(B)）への申請を完了したことを報告。
- ・次期以降の委員会及び理事会構成について検討中であることを報告。

#### 5. 広報理事報告

- ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき16件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。このうち1件はメーリングリスト運用規格外のため総務会で検討の上配信を行ったことを報告、事後承認された。
- ・学会HPの研究会情報フォームより依頼のあった他学会主催の研究例会の広報依頼を断ったことを報告。

#### 6. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：83巻3号の進捗状況について報告。
- ・JRCA編集委員会：Vol.19-1の進捗状況について報告。また、昨年度承認された下記の語数制限の改正について執筆要領に反映させることを報告。
  - 特集論文 改正前 5000語 ⇒ 改正後 10000語
  - 論文 改正前 10000語 ⇒ 改正後 12000語
  - 研究ノート 改正前 5000語 ⇒ 改正後 8000語
- ・法人化対応委員会：各種規程修正の進捗状況について報告。任意団体からの財産譲渡手続きを含む清算の年度内完了、同じく年度内での任意団体の解散日確定と会員への周知完了を目途とする今後の作業日程について報告。
- ・「国際情報発信強化」特別委員会：欠席の窪田理事に代わり石田理事より、科研費（国際情報発信強化）について、中間評価報告書を作成し提出したことを報告。また、木村理事より、第5回国際シンポジウム「国際化する日本の文化人類学と国際情報発信強化の試みー台湾と日本」が2019年1月26日に慶應義塾大学三田キャンパスで開催されることを報告。
- ・国際化グローバル化対応委員会：韓国釜山で開催された韓国人類学会大会へ会長と窪田理事が招待され出席したことを報告。
- ・研究大会実施委員会：発表要旨登録が締切られ、査読の準備を開始したことを報告。
- ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
- ・次世代育成セミナー担当委員会：11/17（土）に次世代育成セミナーを開催したことを報告。

#### 7. 日本学術会議文化人類学関係分科会について

- ・欠席の窪田理事に代わり高倉理事より、地域研究委員会での議論や、文化人類学の参照基準の活用について報告。

## 〔審議事項〕

### 1. 事務局員雇用に関する申し合わせ

- ・当該事務局員ご本人の希望を確認のうえ、次年度も雇用を継続することを確認。併せて、事務局員の雇用に関する申し合わせの内容に法人化に伴う要修正点が見出されたため、次年度 2019 年 4 月時点で社会労務士の確認を経て改めて契約書を作成し、学会と事務局員において契約を結ぶこと、2019 年 4 月 1 日以降、新たな雇用条件が確定するまでは、現行の申し合わせ内容での雇用とし、新たな雇用条件が確定した時点で、2019 年 4 月 1 日に遡及してこれを適用すること、以上について、書面を以って学会・事務局員双方で確認することとした。また、当該事務局員は現時点で既に 5 年以上継続雇用されているため、希望すればいつでも無期雇用に転換可能であることを確認した。

### 2. 研究大会でのシンポジウム開催について

- ・欠席の窪田理事に代わり清水会長より、来年度の研究大会時に、アイヌ研究倫理に関するシンポジウムと科研費審査システム改革に関するシンポジウムの 2 つを理事会主催で開催することが提案され、具体的なタイムスケジュールを確認し、可能な範囲内で実施することが承認された。加えて、どのようなテーマであれば通常の分科会ではなく、理事会主催のシンポジウムにしてよいかの基準が必要であるという意見が出され、引き続き審議することとした。

### 3. 日本文化人類学会奨励賞選考委員会提案

- ・奨励賞選考委員会より、第 14 回奨励賞の選考経緯と選考結果の報告がなされ、審議の結果、原案通り承認された。選考結果は、例年通り JASCA-INFO 及び学会 HP で周知を行うこととした。
- ・奨励賞の受賞資格者について、賞の趣旨に即せば同一会員が複数回受賞することは好ましくないため、その点を明記するよう選考規則改正の提案があり、承認された。施行は 2019 年 4 月 1 日とすることとした。

### 4. 次世代育成セミナーの今後のあり方について

- ・松村理事より、今年度の実施状況、および教育委員会・次世代育成セミナー担当委員会内での議論を踏まえて来年度の実施の仕方に関わる提案があり、承認された。次世代育成セミナーのあり方については、中長期的に議論を続けていくこととした。

### 5. 学会誌掲載論文の J-Stage 認証付き期間の変更について

- ・綾部理事より、J-Stage 認証付き期間を現在の 3 年から短縮することが提案され、審議の結果、1 年とすることが承認された。

### 6. 渋澤民族学振興基金選考委員の推薦について

- ・木村理事より、任期満了に伴う平成 31 年度渋澤賞選考委員会の委員長・委員の推薦依頼があったことが報告され、平成 31 年度の委員長と新規委員推薦（平成 32 年度委員長案含む）に関する提案が承認された。

### 7. 研究評価及び認証評価委員会専門委員候補者の推薦について

- ・木村理事より、独立行政法人大学評価・学位授与機構より研究評価及び認証評価委員会専門委員の候補者の推薦依頼があったことが報告され、専門委員候補者の推薦に関する提案が承認され、候補者に内諾を得た上で推薦をおこなうこととした。

### 8. その他

- ・会長より、今年発生した災害について被災の情報があれば学会へ寄せてもらえるよう依頼がなさ

れた。

- GEAHSS より各学会へ負担金の提案があったことについて、欠席の中谷理事に代わり川田理事より説明があり、GEAHSS 側に負担金総額の算定根拠を問い合わせ、回答が得られ次第理事会メンバーリングリストで本学会の対応について審議を行うこととした。
- WCAA 発行のオンライン・ジャーナル“*Deja Lu*”については、今後、担当委員会がどこかを確認の上、当該委員会を中心に検討を進めることとした。
- 第 6 回理事会は 2019 年 2 月 17 日（日）14：00～於首都大学東京秋葉原サテライト C 会議室。

以上